

中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村元 慈しみの心

No.282

ヴェーサーリー（の町）は美しい。このウデーナ樹も、ゴータマカ樹も七本のマンゴー樹も…そしてチャートラ樹も、みんな聖なるもので美しい。（ブッダ）

△解説▽私の友人は不治の病を得て長く悩んだ。そして宗教信仰にはいり、「人生って美しいんだぜ」と言いつつ35歳で死んでいった。80歳のブッダも同じ言葉を発している。自我という桶の底が抜け、死を素直に受け止めた心境であろうか。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.16 中村元記念館協力

2016年（平成28年）8月16日（火曜日）

中村元 慈しみの心

No.281

△解説▽詩人の高見順は、死は大地に戻ることに、我が家に帰ることだと自分に言い聞かせている。お土産を買わなくていいか、などともいう。たしかに死は郷里に帰ることである。「私は十分に生き抜いたぞ」という自覚（善業）を土産にもてれば、それだけ帰るのが楽になる。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.16 中村元記念館協力

2016年（平成28年）8月15日（月曜日）

中村元 慈しみの心

No.284

一切の万法（ばんぽう）、風が吹いて花がちるのも、これ実に静かである。雨が降って、上等の服が濡れるからと言って、苦しむのはこっちの話で、雨のほうでは静かである。（澤木興道）

△解説▽そよ風も暴風も、霧雨も豪雨も、人間の欲望や恣意的解釈とは関係がない。だからこれを「静か」という。自然と戦って、人間は自然には勝てない。自然を友として「静かに」つきあうしかない。それが暴風につきあう道である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.18 中村元記念館協力

2016年（平成28年）8月18日（木曜日）

中村元 慈しみの心

No.283

他をして自に同ぜしめて後に、自をして他に同ぜしむる道理あるべし。自他はどきにしたがふて無窮なり。（道元）
△解説▽感銘深い挿話がある。空に揚がる風を見て老妻は言った。あなたも風、私は下についているしっぽみたいなのだった。夫は答えた。風はしっぽがあるからこそ安定して空を飛べる。風としっぽは同体なのだ。自己を深く追求していくと、他者と共にあるからこそ自己もあり得ることを知る。自他は一如である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.17 中村元記念館協力

2016年（平成28年）8月17日（水曜日）

中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村元 慈しみの心 No.286

「一事をこととせざれば」智に達することなし。(道元)
△解説▽仏教には宗派ごとに悟るに向かう幾つかの道がある。自分の選んだ一つの道を突き詰めていくところに、すぐれた智慧(一智)が得られる。それは熱意、努力、苦悩と苦勞、そして長年の体験などの集積した智慧である。この智慧があるからこそ、他の道も理解できる。「一芸に秀でる者は多芸に通ず」に似ている面もある。「一芸は多芸に通じるが、多芸は一芸に達しない。」

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.20 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月20日(土曜日)

中村元 慈しみの心 No.285

もしも相手の説を認めない者が愚者で、蒙昧で低能だというなら、誰も彼もが自説を固執している愚者であり、低能だということになる。(ブッダ)
△解説▽ブッダは理屈をこねている。自分の説を認めようとする相手を愚者だと批判するなら、それは逆にいうと、自分も相手を認めないことだから、自分もまた愚者だと言うに等しい、と説いているのである。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.19 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月19日(金曜日)

中村元 慈しみの心 No.288

人間というのは、寒いときに「ああ寒い、寒い」と言うと、余計に寒い。言葉にすることによって、余計にそれに囚われている。(澤木興道)
△解説▽人間は言葉に影響される。夕暮れに道に落ちている縄を蛇だと思ふと足がすくむ。寒い時に「寒い」と言うと寒さが実体化して余計寒くなる。自分が楽になるよう、明るくなれるよう、正しい考えが持てるよう、自分に祈ればそれなりの効果がある。おためしください。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.22 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月22日(月曜日)

中村元 慈しみの心 No.287

私は世の中の誰ひとりをも疑惑から解放させようと努力はしない。しかし最上の真理を知るならば、汝はそれによつて自分でこの(煩惱の)激流を渡ることができよう。(ブッダ)
△解説▽疑惑とは自己とは何かといった宗教的疑問のことで、真理は自分で知るほかはない、ということである。手助けはできても解決は所詮自分の問題であることを「努力しない」という言葉で強調している。現代の教育論にも通じる教えである。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.8.21 中村元記念館協力

2016年(平成28年)8月21日(日曜日)